

被爆樹木二世を世界に

—種や苗木を育てながら平和への思いを共有しましょう—



縮景園の被爆イチョウ（広島市）



平和首長会議



はじめに

1945年8月6日午前8時15分、一発の原子爆弾により広島は街は廃墟と化しました。また、同年8月9日午前11時2分には長崎の街でも原子爆弾が炸裂し、壊滅的な被害をもたらしました。その年の暮れまでに両市合わせて約21万人もの市民が亡くなりました。

被爆樹木は、被爆の惨禍に遭いながらも再び芽吹き、市民に生きる勇気と希望を与えるとともに、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を訴え掛けています。

平和首長会議では、国内外の加盟自治体に平和のシンボルである被爆樹木の種や二世の苗木を配布し、市民に育成してもらうことにより、平和意識の醸成を図る取組を実施しています。

この取組を通じて、世界中の人々に広島・長崎の被爆の実相を理解し、核兵器廃絶を願う被爆者の切実な思いを共有していただきたいと思っています。

貴自治体でも、被爆樹木二世を育ててみませんか。

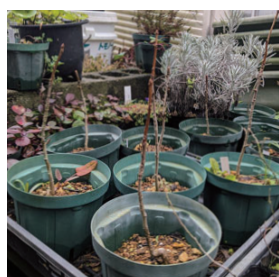


苗木をお届けするまでの手順

国内の加盟自治体には、広島の被爆アオギリ二世・被爆イチョウ二世の苗木と長崎の被爆クスノキ二世の苗木を配布しています。

- STEP 1** 平和首長会議事務局へお問い合わせください。
- STEP 2** 配布希望日の1か月前を目途に、申請書を事務局へ提出してください。
- STEP 3** 苗木と説明標識を希望日に指定の場所へ送付します。
- STEP 4** 植樹後は、植樹の実施報告書(様式任意)の提出をお願いします。

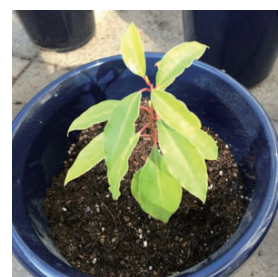
- ※ 苗木の送料及び説明標識の作成・送料は事務局が負担します。
- ※ 被爆クスノキ二世の苗木は、日本非核宣言自治体協議会(非核協)との連携により、非核協事務局が送料を負担し、送付の手配を行います。



イチョウの苗



アオギリの苗



クスノキの苗



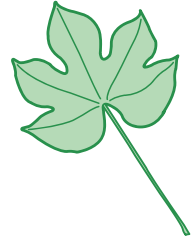
種や苗木を配布している 広島の被爆樹木

広島市の被爆樹木のうち、以下の10か所9種類の種や苗木を、国内外の加盟自治体に配布しています。



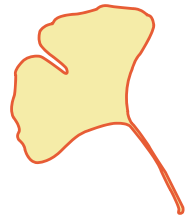
- 1 アオギリ(平和記念公園)**
爆心地から1,300mで被爆

旧広島通信局の中庭で被爆し、爆心地側の幹半分が熱線と爆風により焼けてえぐられましたが、翌1946年には青々とした芽を吹き返しました。1973年に現在の場所に移植されました。



- 2 イチョウ(縮景園)**
爆心地から1,370mで被爆

このイチョウは、樹齢200年以上と言われており、原子爆弾の影響により傾きましたが、原爆投下後に発生した火災にも耐え、今も大きな枝を広げています。



- 3 クスノキ(広島城堀北端)**
爆心地から1,120mで被爆

原爆投下当時、クスノキのすぐそばにあった広島陸軍幼年学校の火災の火が燃え移ったため、爆心地とは反対側に焼けた傷が残っています。



- 4 クロガネモチ(広島城)**
爆心地から910mで被爆

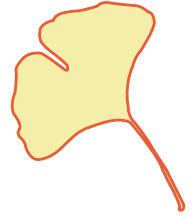
1894年の日清戦争開戦後、広島城内に大本營が置かれていた頃、大本營前の庭園に植えられていました。被爆に耐えた3本が生き残っています。





5 イチョウ(報専坊)
爆心地から1,120mで被爆

原爆投下で幹に大きな裂け目でしたが、報専坊(寺院)で今も元気に育っています。この木が原子爆弾で崩壊した本堂を火災から守ったとされています。



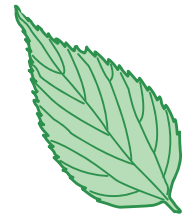
6 エノキ(白神社前 平和大通り緑地帯)
爆心地から530mで被爆

原爆投下により枯れてしまったため、一度切り倒されてしまいましたが、切り株から芽を吹き返し、現在では高木に成長しています。



7 ムクノキ(白神社前 平和大通り緑地帯)
爆心地から530mで被爆

3本あったムクノキが被爆して地上部が焼失しましたが、焼け残った根元から新芽が生え成長しました。そのため幹に大きな傷痕は見られません。



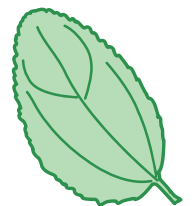
8 カキ(白神社前 平和大通り緑地帯)
爆心地から530mで被爆

白神社前の平和大通りの緑地帯には12本の被爆樹木が残り、その中で生き残っているカキはこの木だけです。



9 ナツメ(平和大通り緑地帯)
爆心地から1,430mで被爆

幹には原子爆弾による傷痕がありますが、毎年夏になると芽を出し、秋には赤い実がたわわに実ります。戦後の平和大通り整備に伴い、近隣から現在の場所に移植されました。



10 ヤブツバキ(吉島稲生神社境内)
爆心地から2,160mで被爆

吉島稲生神社には、5本の被爆樹木があります。被爆当時、吉島稲生神社の社務所はこれら境内の樹木に守られたため、倒壊を免れ、ここで被爆によって焼け出された人々の治療が行われました。





被爆樹木マップ(広島)

原子爆弾により、多くの樹木の幹は折れ、焼き尽くされました。そうした中、広島市では、爆心地から概ね半径2km以内に生き残った159本の樹木を被爆樹木として登録しています(2026年3月時点)。

国内外の加盟自治体へ種や苗木の配布実績がある10か所9種類の樹木以外にも、シダレヤナギ、ソメイヨシノ、ユーカリ、ソテツ、ボタン、サルスベリ、ウメ(紅梅)などが今も被爆の惨禍を伝えています。

詳細はこちら⇒



1 から 10 の番号は、p.2からp.3の被爆樹木の位置を示しています

: 被爆樹木



苗木を配布している 長崎の被爆樹木

長崎の被爆樹木のうち、次の苗木を国内加盟自治体に配布しています。



1 クスノキ(山王神社) 爆心地から約800mで被爆

原子爆弾により枝葉は吹き飛び、幹は黒焦げとなって大きく裂け、一時生存が危ぶまれましたが、2か月後には芽吹き、その強い生命力で市民を勇気づけてきました。

1969年、長崎市天然記念物に指定。2016年国指定史跡となった長崎原爆遺跡の遺構の一つ「二の鳥居」がある山王神社で、今も豊かに葉を茂らせています。



山王神社 二の鳥居

被爆樹木を守ろう

広島市は爆心地から概ね半径2km以内、長崎市は半径4km以内で被爆した樹木を、被爆樹木として登録・認定し、保存・継承に取り組んでいます。

両市では樹木医に依頼して、被爆樹木の健康診断等を定期的に行い、樹勢や環境の変化などに伴い対応が必要な場合は、土壌改良や環境改善などの樹勢回復措置を行っています。

また、樹木医が樹木ごとに診断カルテを作成し、その後の経過観察に役立てています。

このような取組を通じ、被爆の実相を語るとともに、その惨禍を乗り越えた生命力の象徴として貴重な存在である被爆樹木を、良好な状態で後世に引き継げるよう大切に守っています。




被爆樹木マップ(長崎)

爆心地から半径4km以内の樹木は、強烈な爆風と熱線により、多くがなぎ倒され、炎上しました。長崎市では、その焦土の中を生き抜いた50本の樹木の保存・活用に取り組んでいます(2026年4月時点)。山王神社の被爆クスノキ以外にも、カキ、ツツジ、ザクロなどが今も被爆の惨禍を伝えています。



数字 **1** は、p.5の被爆樹木クスノキ(山王神社)の位置を示しています

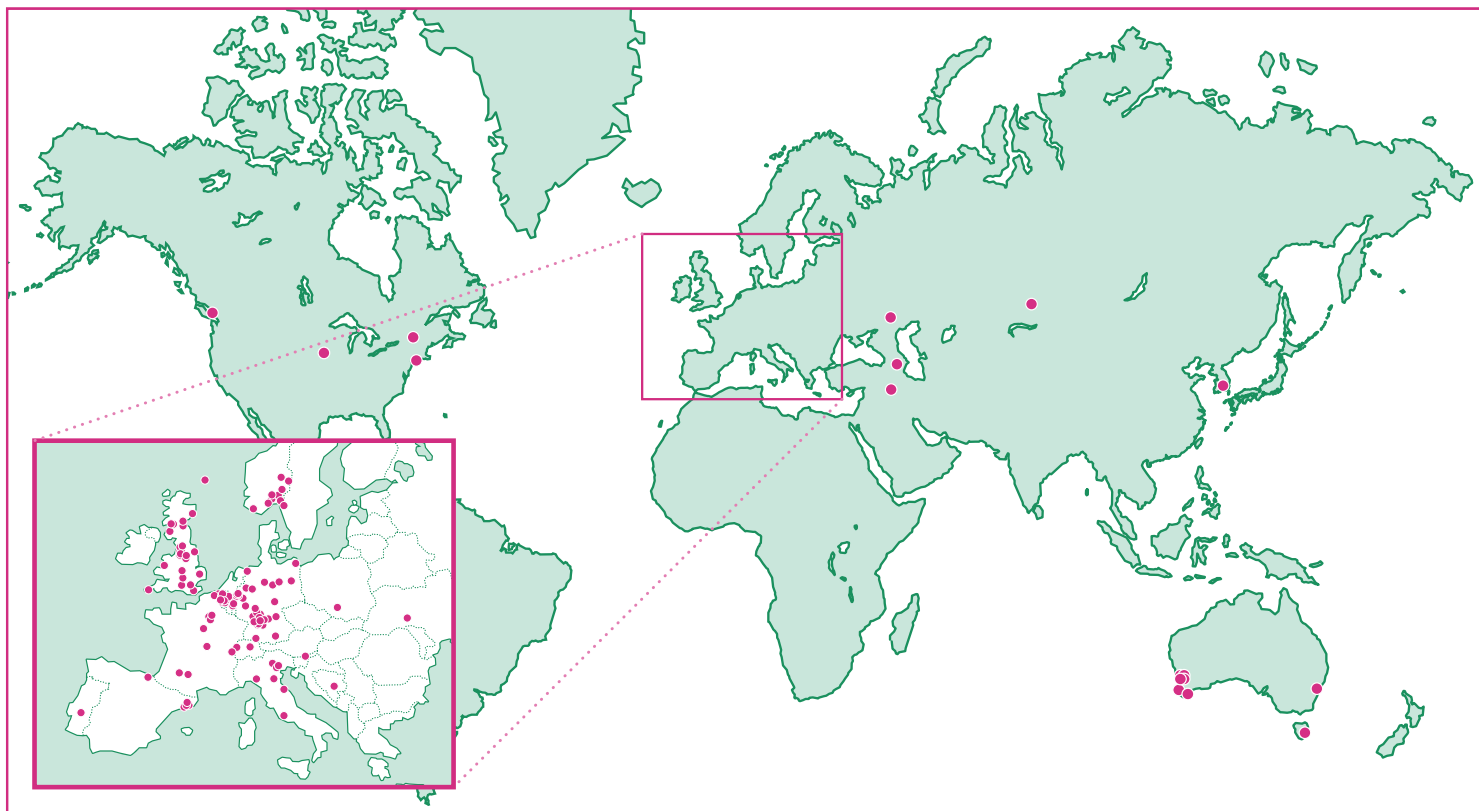
 : 被爆樹木



世界各地で育つ被爆樹木二世

専門の樹木医と相談しながら、各都市の気候に合った樹木を選び、その種や苗木を22か国135自治体4団体に配布しています(2026年3月31日時点)。

● 被爆樹木二世配布先(海外)



2026年3月31日時点

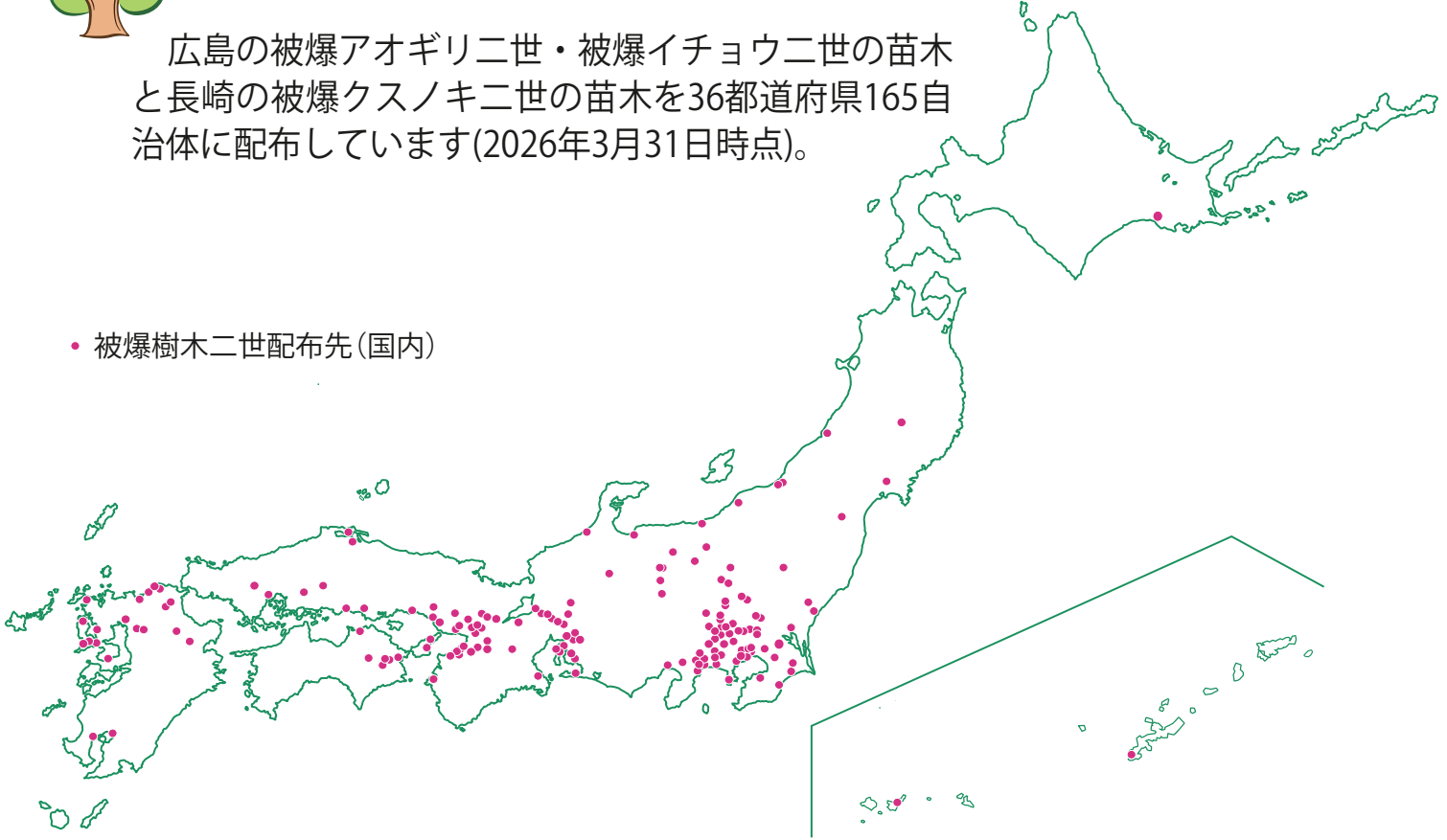
	国名	配布自治体・団体名
1	オーストラリア	オールバニー、バッセルトン、コーバーン、フリマントル、ホバート、ロッキングハム、スピアコ、シドニー
2	アゼルバイジャン	アグダム(県)
3	ベルギー	アールショット、アンデルレヒト、ブリュッセル、デインゼ、エルペ・メレ、エッセン、ヘール、ヘンク、ヘント、ハーヒト、ホルスピーク、ハルデンベルグ、イッヒテヘム、イーベル、クルーゼム、クールネ、リヒターベルデ、モールスレード、オウデンブルグ、テセンデルロ、フルネ、ウォルテゲム・ペーテゲム、ゼルザテ
4	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ
5	カナダ	モントリオール、オークベイ
6	フランス	グリニー、ラセラン、マラコフ、オクシタニー・ピレネー=メディテラネ(地域圏)、パリ、サラン、ヴァレンヌ・ヴォーゼレ
7	ドイツ	アーレン、バート・クロイツナハ、バイロイト、ベルナウ・バイ・ベルリン、ボン、ブラウンシュヴァイク、ブレッテン、ブリュッゲン、コースフェルト(郡)、ダルムシュタット、ドルトムント、エムデン、エムスデッテン、エアフルト、ガウ・アルゲスハイム、ハノーバー、ハイニンゲン、ヘルツォーゲンアウラハ、インメンシュタアート・アム・ボーデンゼー、カウフェリング、クレーフェルト、キュンツェルスアウ、ランゲン、マクデブルク、メンヘングラドバッハ、ネッテタール、ニーダークリュテン、ローテンブルク・オブ・デア・タウバー、リュッセルスハイム・アム・マイン、シュヴェービッシュ・ハル、シュベールビッシュ・グミュント、シュヴァルムタール、シュトラールズント、シュトゥットガルト、チュービンゲン
8	イラク	ハラブジャ
9	イタリア	ベルチェート、チェルヴィア、コティニョーラ、イタリア議会、ミラーノ、スピネーア、ティエーネ
10	カザフスタン	セメイ
11	オランダ	リングヴァールド
12	ノルウェー	フレドリクスタッド、フロン、ハルデン、クヴィネスダール、ラルヴィク、オスロ、リングサーケル、サンデ、スケズモ、ヴァレル
13	ポーランド	オシベンチム
14	ポルトガル	エヴォラ
15	ロシア	ボルゴグラード
16	スロベニア	ラドリュエ・オブ・ドラヴィ
17	韓国	ノグンリ国際平和財団
18	スペイン	カノベレス、ガヴァ、ゲルニカ・ルモ、グラノラズ、サン・フェリユ・デ・ロブレガド
19	スイス	ルツェルン、レナン、国連ジュネーブ事務所
20	ウクライナ	ノヴァ・ウシツァ
21	英国	アパディーン、アベリストゥス、コーンウォール、エジンバラ、ファイフ、グラスゴー、ヘイスティングス、ヘプデン・ロイド、キングストン・アポン・ハル、ランカスター、レスター、ルイシャム、マンチェスター、ノリッジ、ノッティンガム、オールダム、オックスフォード、レンフルーシャイア、ロッチデール、ロザラム、シェフィールド、シェトランド、スキプトン、サウス・エアシャー、ストックポート、ウィンチェスター
22	米国	デモイン、ディスラプター・ファウンデーション



日本各地で育つ被爆樹木二世

広島の被爆アオギリ二世・被爆イチョウ二世の苗木と長崎の被爆クスノキ二世の苗木を36都道府県165自治体に配布しています(2026年3月31日時点)。

● 被爆樹木二世配布先(国内)



2026年3月31日時点

	都道府県名	自治体数	配布自治体
1	北海道	1	釧路町
2	岩手県	1	矢巾町
3	宮城県	1	美里町
4	山形県	1	酒田市
5	福島県	1	伊達市
6	茨城県	5	石岡市、取手市、ひたちなか市、那珂市、大子町
7	群馬県	3	沼田市、藤岡市、安中市
8	埼玉県	12	川口市、加須市、本庄市、草加市、蕨市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、坂戸市、美里町、杉戸町
9	千葉県	7	市川市、成田市、八千代市、袖ヶ浦市、白井市、匝瑳市、一宮町
10	東京都	19	港区、文京区、江東区、品川区、中野区、杉並区、荒川区、八王子市、三鷹市、青梅市、府中市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国立市、多摩市、羽村市、西東京市
11	神奈川県	12	川崎市、相模原市、平塚市、藤沢市、小田原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、座間市、寒川町、清川村
12	新潟県	4	新発田市、燕市、上越市、胎内市
13	富山県	1	魚津市
14	石川県	1	野々市市
15	長野県	7	松本市、安曇野市、池田町、松川村、小谷村、山ノ内町、野沢温泉村
16	岐阜県	5	高山市、美濃市、羽島市、瑞穂市、関ヶ原町
17	静岡県	2	富士市、長泉町
18	愛知県	13	名古屋市、一宮市、半田市、碧南市、常滑市、大府市、岩倉市、日進市、田原市、みよし市、長久手市、扶桑町、幸田町
19	三重県	2	伊勢市、伊賀市
20	滋賀県	2	湖南市、米原市
21	京都府	3	京都市、亀岡市、向日市
22	大阪府	13	堺市、岸和田市、泉大津市、高槻市、茨木市、泉佐野市、富田林市、箕面市、羽曳野市、摂津市、高石市、泉南市、熊取町
23	兵庫県	10	洲本市、芦屋市、赤穂市、宝塚市、三田市、加西市、淡路市、猪名川町、稲美町、播磨町
24	奈良県	2	奈良市、生駒市
25	和歌山県	1	広川町
26	島根県	3	松江市、安来市、吉賀町
27	岡山県	2	倉敷市、笠岡市
28	広島県	3	東広島市、廿日市市、世羅町
29	徳島県	5	吉野川市、石井町、北島町、藍住町、つるぎ町
30	香川県	1	丸亀市
31	福岡県	8	福岡市、八女市、筑後市、古賀市、新宮町、岡垣町、香春町、川崎町
32	佐賀県	1	佐賀市
33	長崎県	7	長崎市、諫早市、大村市、平戸市、西海市、南島原市、長与町
34	大分県	2	日田市、玖珠町
35	鹿児島県	2	鹿児島市、霧島市
36	沖縄県	2	石垣市、豊見城市



被爆樹木を活用した取組事例（海外加盟自治体）

マンチェスター市(イギリス)



被爆イチョウ二世の植樹式
(2019年7月)

平和首長会議の副会長都市であるマンチェスター市では、2014年から被爆樹木を題材にした「プロジェクトG」と呼ばれる平和学習の取組が行われ、地元の学校での平和教育に大いに貢献しています。被爆樹木をテーマにした詩やアートのコンテストなどを通して、子どもたちが被爆の実相を知り平和について考えるきっかけになっています。

チェルヴィア市(イタリア)



被爆イチョウ二世の「パシフィコ」とイベントの参加者たち
(2025年7月)

被爆80周年の節目に、姉妹都市であるドイツ・アーレン市の代表団がイタリア・チェルヴィア市を訪問しました。一行は市長や地元の小学生に迎えられ、同市内の公園にあるイチョウの木「パシフィコ」を視察しました。

この木は10年前、アーレン市を通じて平和首長会議から贈られた、広島「被爆樹木二世」です。児童たちは「パシフィコ」にまつわる物語を披露するなど、代表団との交流を深めました。両市の絆から生まれたこの木は、次世代へ平和を繋ぐ象徴となっています。



被爆樹木を活用した取組事例（国内加盟自治体）

国立市（東京都）



国立市ウェブサイト
「被爆アオギリ二世のすくすくだより」

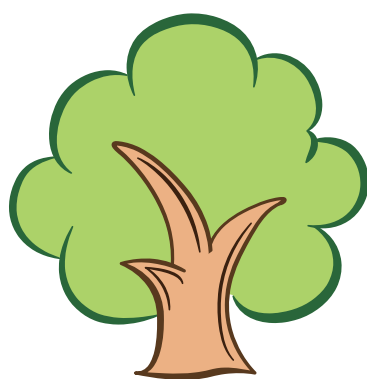
東京都国立市の公式サイトでは、原子爆弾を投下された広島や長崎、国立市の平和への取り組みを身近に感じてもらうために、「被爆アオギリ二世のすくすくだより」として苗木の成長記録を公開しています。この被爆アオギリ二世の苗木は、同市の市制施行50周年を記念して、2017年に植樹したものです。

瑞穂市（岐阜県）



被爆アオギリ二世植樹式
(2024年6月)

平和で安心・安全な世界の実現に向けた啓発事業や平和教育を推進する瑞穂市では、次代を担う若い世代への平和意識の醸成を目的に、令和2年から毎年、被爆アオギリ二世の苗木を市内の小・中学校に贈呈しています。令和6年度、市内の小学校で開催した植樹式では、市長が「皆さんの手で被爆アオギリの苗木を大切に育てながら、平和の大切さや命の大切さを学んでほしい」と挨拶し、苗木を植樹しました。



Mayors for Peace

被爆樹木二世の苗木の配布を希望される平和首長会議加盟自治体は、事務局にお問い合わせください。

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1番5号

公益財団法人 広島平和文化センター 国際部 平和首長会議・国際政策課

TEL : (082) 242-7821 FAX : (082) 242-7452

平和首長会議ウェブサイト X (旧 Twitter)



発行:2026年4月